



仁淀病院からのお知らせ



整形外科での骨折治療

整形外科 小野 剛史

基本的に骨折に対してはギブス固定などの保存治療と手術治療の2つがあります。手術の方が望ましいなら当院では骨折に対し以下の手術を行っています。今回は比較的頻度の高い骨折を取り上げます。

- ①**上腕骨近位部骨折**：プレート固定、髄内釘固定
肩の外傷では脱臼とともに頻度が高いです。主にプレート固定術を行っています。
- ②**上腕骨遠位部骨折**：プレート固定、ワイアー固定
骨折のタイプにより骨折部の内側、外側からプレート固定術を行っています。
- ③**橈骨遠位端骨折**：プレート固定、髄内釘固定
大腿骨頸部骨折に次ぐ頻度の高い骨折。骨折のタイプによりプレート固定術か髄内釘固定術を行っています。
- ④**大腿骨近位部骨折**：人工骨頭置換術、髄内釘固定、スクリュー固定、プレート固定
最も頻度の高い骨折。頸部内側骨折であれば人工骨頭術かスクリュー固定術を行っています。頸部外側骨折であれば主に髄内釘固定術を行っています。
- ⑤**大腿骨遠位部骨折**：プレート固定、髄内釘固定
時に人工膝関節置換術後に生じることがあります。骨折のタイプによりプレート固定術か髄内釘固定術を行っています。
- ⑥**膝蓋骨骨折**：ワイアー固定
テンションバンドワイアリング法にてワイアー固定を行っています。
- ⑦**脛骨近位部骨折**：プレート固定
骨折のタイプにより骨折部の内側、外側からプレート固定を行い、必要に応じて骨移植を追加しています。
- ⑧**足関節骨折**：スクリュー固定、プレート固定、ワイアー固定
足関節の捻挫により生じることがあります。内果はスクリュー固定術かワイアー固定術、外果はプレート固定術かスクリュー固定術を行っています。
- ⑨**踵骨骨折**：プレート固定、スクリュー固定
高所からの転落で生じます。骨折のタイプによりプレート固定術かスクリュー固定術を行っています。

〈手術例〉

